

奄美情報処理専門学校 工業課程 システム情報処理科 自己評価表

1. 学校の教育目標

実践的技術教育を通じて、工学的知識・技術の基本を備え新しい"もの"の創造・開発に粘り強く挑戦できる技術者を育成する。
 豊かな教養、技術者としての倫理観を身につけさせ、社会に貢献できる広い視野を持った技術者を育成する。
 産業のグローバル化に伴い、国際社会において自分の考えを表現できる表現力やコミュニケーション力を備えた技術者を育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

地域産業の発展に貢献するため、課題探求能力を有し、設定した課題に向かって果敢に挑戦できる技術者を育成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

該当の数字を入力して下さい

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4
・学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	4	3	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	3	3	3	3	3
・学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界にニーズに 向けて方向づけられているか	4	4	4	4	4

①課題

学校の理念・目的・特色含めて、学生及び保護者等に周知することは改善しつつあるが、依然として不足している。

②今後の改善方策

インターネットやSNSを使って広報活動強化。

自己評価表はインターネットで閲覧可能なので、周知する機会を定期的に設ける。

③特記事項

今年度はコロナ過の中、参加出来るイベントには全て参加し、高校生向けへ学校PRを活動してきた。

前年度よりは改善しているが、周知PR活動を継続していく。

(2) 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	3	3	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	3	3	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4	4	3	3	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	4	3	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3	3	3	3
・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	4	3	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	4	3	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	2	3	3

①課題

業務効率向上のために講師全員がシステム使用の徹底が必要

コロナウィルス対策にてリモート授業方法などの効率化

②今後の改善方策

現在、業務システムを仮運用しており、修正を行っている最中です。

zoom、GoogleMeetツールの講習会など実施し、緊急時に対面授業を遠隔授業にスムーズに切り替える。

③特記事項

地域の商工会議所など有識者に必要な知識等についてアドバイスを受ける。

(3) 教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	3	4	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	4	4	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	4	4	4
・関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	4	4	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	3	3	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3	3	3	3
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	4	4	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	4	4	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教育（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4	4	4	4	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力 など資質向上のための取組が行われているか	4	4	4	4	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	4	4	4

①課題

授業を担当できる教員の人材発掘及び育成

②今後の改善方策

今年度は鹿児島市で予定していた講習会に参加出来ず、リモートでも良いので積極的にセミナー等に参加し、人材育成のチャンスを得る。

③特記事項

関連分野の企業と連携を開始した特別授業が、3年目を終えることが出来た。
※現在2社の企業が本校学生を対象に特別授業、給付型奨学金を行っている。

(4) 学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・就職率の向上が図られているか	4	4	4	4	4
・資格取得率の向上が図られているか	3	3	3	3	3
・退学率低減が図られているか	3	3	2	3	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3	3	3	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4	4	4	4

①課題

卒業後の進路意欲。

外国人留学生への対応。

②今後の改善方策

言葉の壁があるので、補習や日本語教育を行う。

会社説明会に来た会社とは、個人的に連絡をしないよう周知していく。

③特記事項

今年度は就職100%未達成(卒業生13 県内3 県外8 未決定2)

コロナ禍の影響もあるが、就職未決定の学生は他の学生と比べると、就職に対して前向きでは無く、その影響も出ていると感じる。結果は結果で真摯に受け止め、学校全体で取り組みたい。

外国人留学生の島内就職は容易ではない。本校の留学生は島内就職希望が多かった。

島内就職先の受け入れ態勢が現状整っていないと感じた。

(5) 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	4	4	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3	3	3	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	4	4	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	3	3	3
・保護者と適切に連携しているか	3	3	3	3	3
・卒業生への支援体制はあるか	4	4	4	4	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4	4	4	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	3	3	4

①課題

就職支援は、整備されているが、就職活動が早すぎるように思う。

②今後の改善方策

入学式以前に保護者を招いて、奨学金説明会を開催し、例年よりスムーズに事務処理対応が行えた。

③特記事項

ハローワーク、若者サポートステーションとの連携は、とてもよかった。

前年度から、東京都のIT企業が給付型奨学金を実施(2年生対象 月3万円 計36万円)

来年度も継続して実施する予定です。

就職関係資料を整え、2年生教室に配置。閲覧をできるようにしている。

(6) 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	3	3	3
・子内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	3	3	3
・防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	4	4

①課題

施設についての行政の補助がない(修理は、現在実費)

※階段手摺工事を2021/3予定

②今後の改善方策

学外の実習、インターンシップは、地域の施設を利用できるよう企業と連携を模索中

コロナ過で各事業所側も余裕がない状態。

③特記事項

防災に関しては、定期的に検査があり、不備があればその都度、直している。

定期的に県外企業(情報産業専門技術者)の方を特別講師として招いて、実務的な技術や知識を学んだ。

※令和2年度も実施。基本はリモート授業対応し、必要に応じて抗原検査を行い、対面授業を行った。

(7) 学生の受入れ募集

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	4	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	4	4	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4	4	3	3	4

①課題

今後少子化が進む中でも、定員を充足しないとけない。

②今後の改善方策

各高校の進路ガイダンスや地域事業所の主催の説明会にも参加し、入学人数維持している。

島外からの受け入れをする為にも、HP更新やSNS連携をこまめに行う。

③特記事項

本校の募集活動は、鹿児島県専修学校協会の規定にのっとり正しく募集している。

令和3年度に限ってはコロナ過で経済的な問題で進路変更する学生が出てくる可能性があるため国の奨学金、民間の奨学金等も合わせてチェックし、学生の受け入れ態勢を整える。

(8) 財務

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	2	2	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	2	3	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	3	4

①課題

さらなる財務基盤の安定化

②今後の改善方策

関連会社との連携等、雑収入を増やすなどの工夫

③特記事項

本校は、補助金なしで運営している。今年は学生コロナ緊急支援金を取得し、該当者には支援金を申請した。

(9) 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4	4	4	4
・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	4	4	4	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	2	3	3	3
・自己評価結果を公開しているか	4	4	4	4	4

①課題

自己評価の問題点の改善は、職員一人一人の抱える仕事が多すぎてなかなか進まない。

②今後の改善方策

職員を増やす。システム化で効率のいい事務処理を行う。本校学校教育に賛同してくれる企業等に協力を得る。

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	4	4	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	4	4	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4	4	4	4

①課題

公共訓練は、教室数の問題や他民間PCスクールが独占しているため実施できない状況。

遠方への出張講座は、就業時間外では、できない。

②今後の改善方策

今のところ得策なし。

③特記事項

これから実施するイベントの規模、対象者、感染防止をしっかりと検討し、行えるものは行っていく方向で考えている。

(11) 国際交流 (必要に応じて)

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	講師1	講師2	講師3	講師4	平均
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	3	2	2	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等が取られているか	3	3	3	3	3
・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3	3	3	3
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	2	2	2	2	2

①課題

直接の留学生受け入れは、まだしていない。(日本語学校卒業生のみ)

(4) 学修成果と同様に、外国人留学生就職受け入れ先の確保

留学生が日本で就職先を見つけられない原因として、外国人留学生向けの求人が少ないこと、留学生用就職情報があまり充実していないことが挙げられます。

②今後の改善方策

留学生の目的に沿ったサポート、学習を引き続き継続していく。

③特記事項

令和2年度 退学者 2年 3名 主な退学理由としては3名とも留学生でコロナ過でアルバイトがあまり出来ず、生活苦から学費の滞納などが理由です。分納など学校側で出来る善処を試みたのだが、退学となりました。成績不良も関係しているが、留学生に対してのサポート体制の強化と留学生に頼らない学校運営を目指す。
※奄美大島島内の日本語学校は閉校した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校独自の給付型奨学金が4年目を迎えた。企業との連携は勿論、学生への周知をしっかりとし今後に繋げていく。コロナ過でインターンシップが中止となった。※本校が職場として、中高生向け次年度開催できるならぜひ地域貢献のため、実施したい。
奄美大島島内の日本語学校は閉校したが、1年生1名・2年生3名在学している。学生本人が努力するのは勿論出来るかぎりサポートをしていきたい。
今後も学校運営の安定化を目標にあらゆる情報を活かしていきたい。

5. 総合評価

コロナ過という大変な状況の中、学校運営の安定化をめざし、学生ファーストの学校作りを継続していく。リモート授業など昨年も取り入れたが、今年度も臨機応変に対応するよう職員、外部講師に通達する。本校独自の給付型奨学金など少しずつだが学校の特色が出てきており、周りに周知してきているが、まだ足りないと感じている。奄美大島の高校生含む、他の地域にもPR出来るよう努力していく。
今後も学校運営の安定化を目標にあらゆる情報を活かしていきたい。